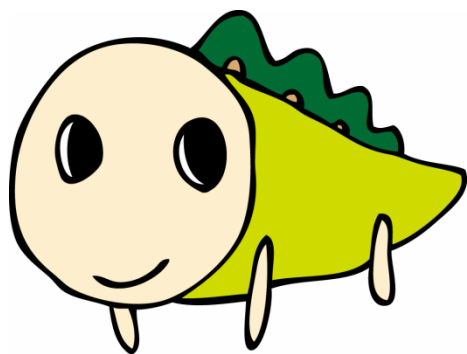


杉並区の小中一貫教育

－自信をもって自らの人生を切り拓いていく
子どもを育てる杉並の教育－



杉並区公式キャラクター「なみすけ」

杉並区教育委員会事務局
統括指導主事 白石高士

小中一貫教育の目的

義務教育で人生の基盤づくりを行います。

○教育の目的（教育基本法第1条）

「人格の完成」「国家・社会の形成者の育成」

→知徳体の調和のとれた人間形成

○義務教育は「人生基盤」をつくる大切な期間

○「自分に自信のもてない子」「学習や将来に無気力な子」
「不安を感じている子」「人間関係の形成が不得手な子」
などの増加



自信をもって自らの人生を切り拓いていく力

小中一貫教育の必要性

学校の課題を解決し、学校教育のより充実を図ります。

- 大きな変革期である「子ども」から「大人」への接続
- 接続の部分における課題

小学校における内容が十分に定着されずに、中学校へ進学してしまっている。
小学校で身に付けたことが中学校で十分に受け継がれていない。
人間形成を図るべき大切な時期に、子どもたちに負担を与えている。
小中学校の教員が互いの内容を十分に理解していない。
経済の格差が教育の格差に広がりつつある。



小中学校の円滑な接続の工夫が必要

義務教育の基盤づくり

義務教育の充実は自治体の責任

○自治体の責任

質の高い教育の実施

○公立学校へのより大きな信頼

教育の選択肢を多様にもつ杉並区

○都立高等学校への円滑な接続

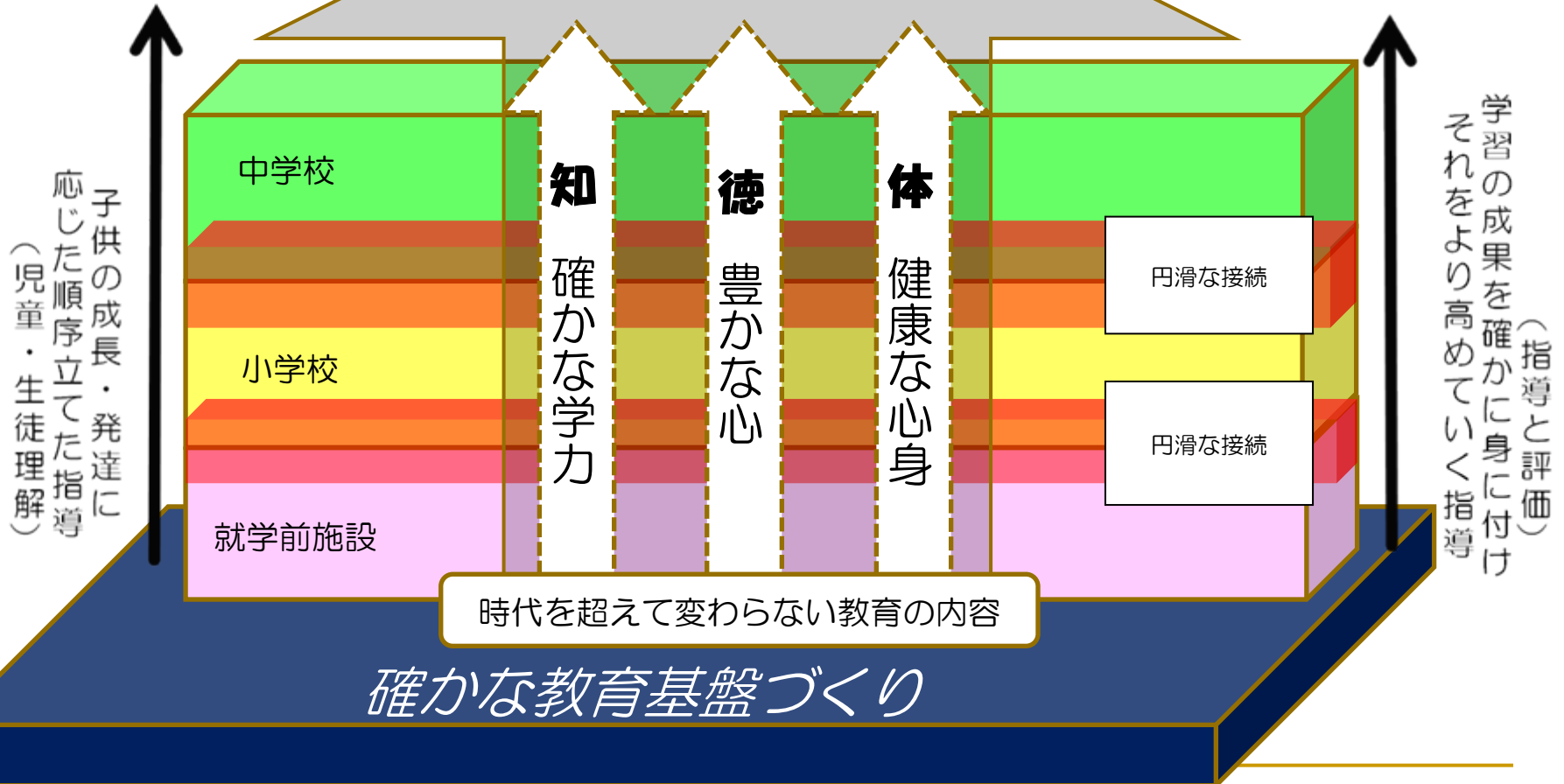
多様化した都立高等学校の形態



社会参加のための基盤づくり

調和のとれた人間形成（生きる力）

自信をもって自らの人生を切り拓いていく力



小中一貫教育の内容

一貫した教育課程

系統性

子どもの成長・発達に応じた、順序立てた指導
(児童・生徒理解)

連続性

学習の成果を確かに身に付け、より高めていく指導
(指導と評価)

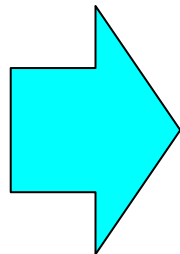
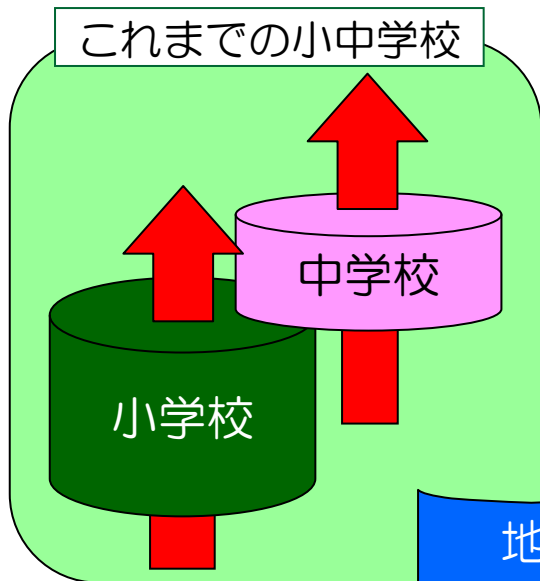
例えば・・・

- コミュニケーションの力を育てるための小学校1年生からの英語活動の取組
- 職業に対する望ましい見方、考え方を育てるためのキャリア教育
- 論理的に考え、表現する力を育てるための理数教育の取組
- 体力向上を図るための運動の日常化や食にかかわる指導の取組
- 伝統・文化を学び、世界の中で日本人としてよりよく生きる資質をはぐくむ取組

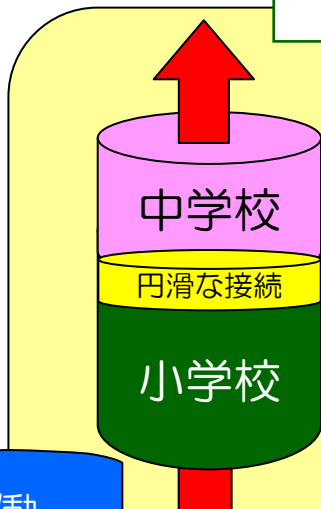
小中一貫教育の内容

特色ある教育活動

これまでの小中学校



小中一貫教育

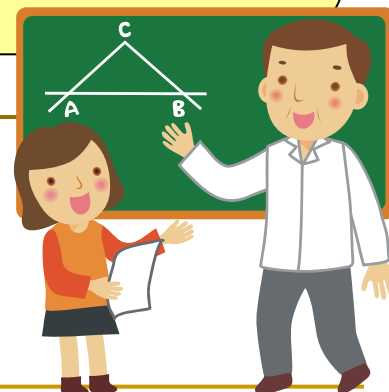


義務教育の背骨

9年間を通じた学習指導、生活指導、進路指導など

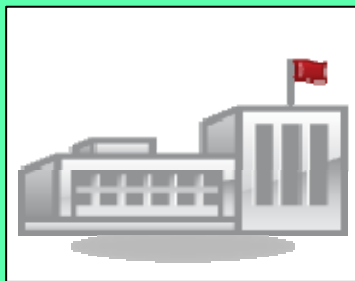
小学校から中学校への円滑な接続

地域との協働



小中一貫教育の形態

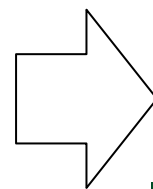
一貫した理念に基づく教育



中学校

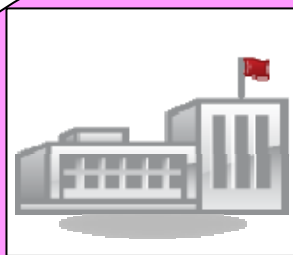


小学校



小中一貫教育校
(施設一体型)

地域との
協働



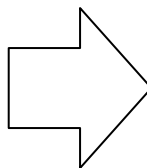
中学校



小学校



小学校



既存の施設を
活用した教育
(連携・協力型)

小中一貫教育の形態と方法

☆一貫した教育計画に基づく指導

- ・ 教育目標の一本化
- ・ 地域の実態に応じた一貫したカリキュラムによる指導
- ・ 一貫した方針に基づく生活指導、進路指導
- ・ 教員の日常的な情報交換、交流（指導方法の共有化）

☆社会とかかわり、社会をつくっていく力を育てる活動

- ・ 様々な人とかかわる喜びと楽しさを感じさせる機会の増大
- ・ コミュニケーション能力を育てる異学年交流
- ・ 集団の一員としての役割を実感させる合同学校行事、部活動
- ・ 自分に対する自信や誇りの感覚を育てる活動
- ・ 道徳心や規範意識などを育成するための豊かな体験活動

☆「新しい公共」の考え方に基づく学校づくり

- ・ 学校地域支援本部、PTAの一本化
- ・ 小中保護者間での情報交換、相談（子育て支援）

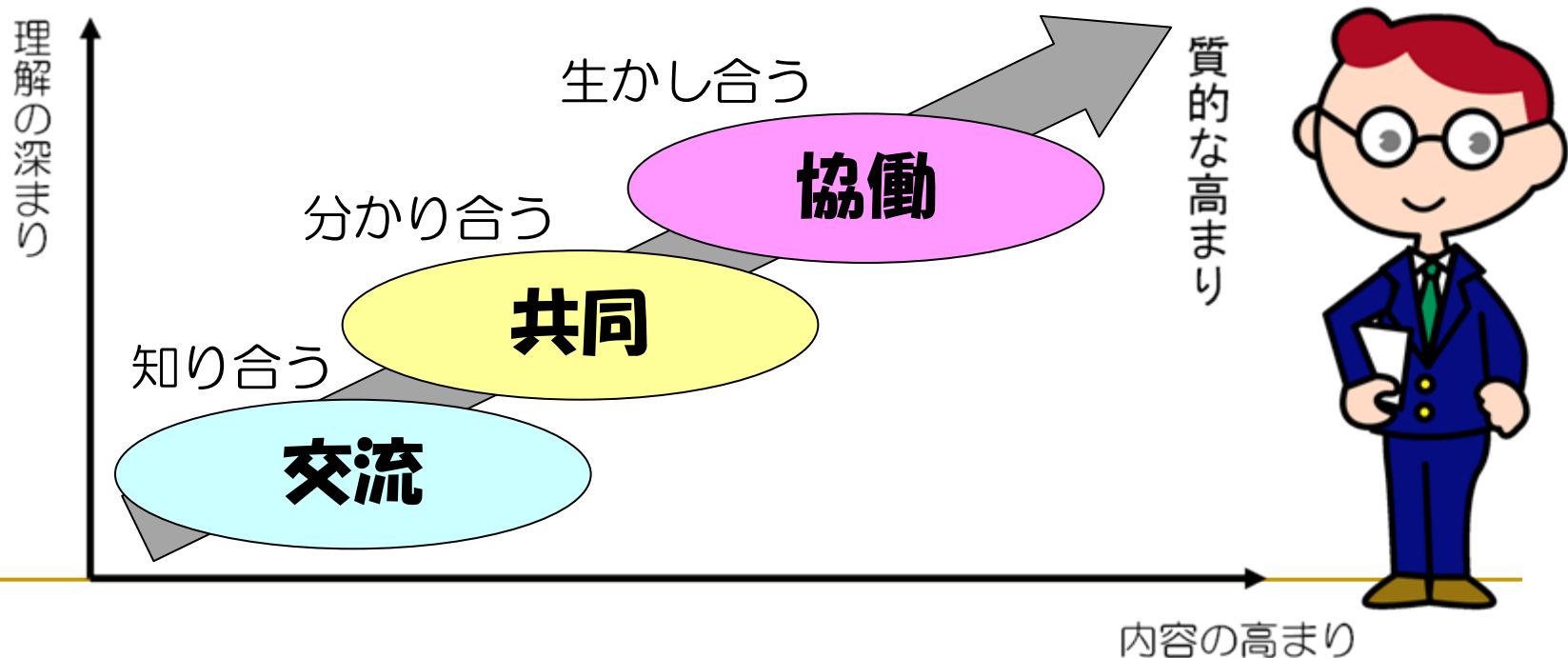
学校・地域の実情に応じた取組の推進



学校の役割

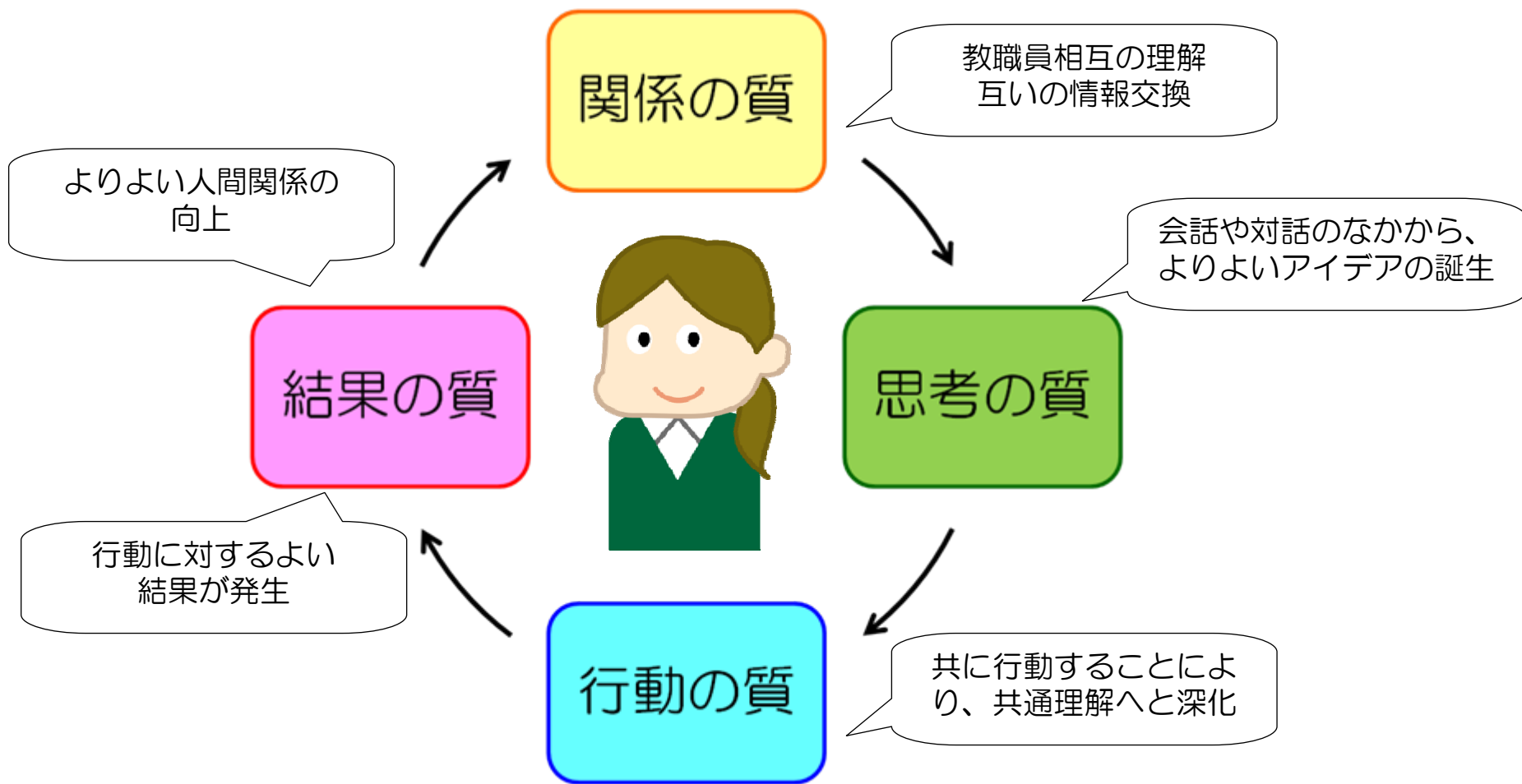
学校全体での組織的な取組が必要

	段階	内容	方法	特徴
A	始動期	知り合う	交流	単発的・単一的・個別対応
B	充実期	分かり合う	共同	継続的・短期的・専門的対応
C	発展期	生かし合う	協働	計画的・長期的・組織的対応



教職員の役割

教職員の意識改革・向上が必要



地域の役割

いいまちはいい学校を育てる ～学校づくりはまちづくり

☆学校、家庭、地域が各役割と責任のもと連携・協力

☆学校の課題は学校だけで解決するわけではない。

☆地域と協働することで高まる学校の経営力

☆共通の目標に向かって協力し合い、一体となった解決



地域コミュニティの再生へ



期待される効果

生涯に渡って豊かな生活を送る人生基盤

※自らの人生を切り拓いていく力、自信をもって生きていく力

連続的な指導を行う指導力の向上

※学力や体力の向上、豊かな人間性の涵養、「中1ギャップ」等の解消 等

地域と協働した教育の促進

※地域の支援と協力、学校からの情報の積極的な発信、当事者意識の向上 等

学校における様々な課題解決の一つの方策

小中一貫教育の実践例①

記載した学校名、学校数は平成22年度のもの

(1) 小中一貫教育推進体制の整備

コーディネーターの配置（8校）

小中一貫教育推進協議会の設置（16校）

小中一貫教育全体計画の策定（全校）

「小中一貫教育の日」(仮)の設定（西宮中、松庵小、高井戸第二小）

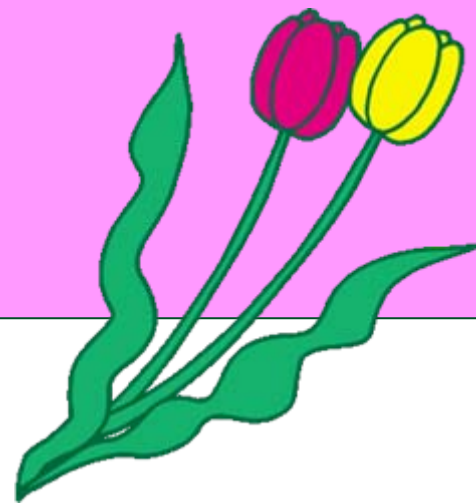
(2) 学習指導組織(体制)の改編

小学校における一部教科担任制の実施（18校）

（理科、算数、体育など）

チームティーチングの充実

（体育、算数など）



小中一貫教育の実践例②

記載した学校名、学校数は平成22年度のもの

(3) 学習場面（機会）の多様化

中学校校舎での生活の継続的な体験（高円寺中、杉並第四小）

小学校教員による中学校への出張授業の実施（小3校）

中学校教員による小学校への出張授業の実施（中12校）

小学生が中学校への訪問学習の実施（小22校）

部活動体験の実施（中21校）

(4) 小中学校の教員の相互理解及び連携強化

小中学校合同情報交換会・合同研究・研修会の開催（44校）



小中一貫教育の実践例③

記載した学校名、学校数は平成22年度のもの

(5) 児童・生徒理解の深化

小中合同お弁当給食の実施（和泉中、新泉小、和泉小）

展覧会における交流の実施（新泉小 他）

中学校への期待感を高め、不安感を取り除く取組の実施

（西宮中、高井戸第二小、松庵小）

(6) 地域・保護者の連携・協力

地域合同清掃の実施（高円寺中、高南中、杉並第四小、杉並第八小）

学校音楽祭の実施（東原中、杉並第一小、杉並第九小）

(7) 情報の発信

保護者・子どもたちへ意識調査の実施（和泉中、新泉小、和泉小）

学校便りによる理解啓発（27校）

ホームページによる啓発（18校）

小中一貫教育の検証

各取組の成果と課題についてそれぞれ実施

○全体の推進に関すること

全体の進捗状況、組み合わせ校における実践、情報共有等について

○施設・設備に関すること

一貫した理念に基づく施設・設備の在り方等について

○教育課程に関すること

地域、学校の実態に応じた一貫したカリキュラム等について

○学校運営に関すること

校内の指導組織、運営組織の在り方等について

○教育活動に関すること

交流授業、部活動体験の取組等について

○教員の資質向上に関すること

教職員による研究会、連絡会の開催等について

○地域の再生化に関すること

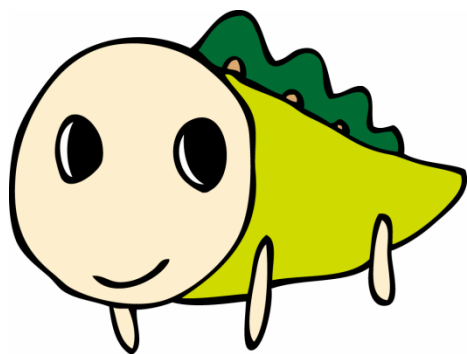
地域・保護者への理解啓発の在り方、学校支援本部との連携等について

今後の予定

項目	23年度	24年度	25年度	26年度以降
基本方針の見直し	現行	→→→→→	見直し 検討	改定版
組み合わせ校	決定	実施	→→→→→	→→→→→
出張授業・訪問学習 合同授業・交流活動	実態に応じ 実施	→→→→→	→→→→→	→→→→→
連携校による合同 研修会・連絡会	年1回以上 実施	→→→→→	→→→→→	→→→→→
地域・保護者等への 理解啓発	年間1回 以上設定	→→→→→	→→→→→	→→→→→
新泉・和泉地区 小中一貫教育校	設置協議会	→→→→→	→→→→→	27年度開校
その他の地区における 小中一貫教育校	設置校検討	→→→→→	設置計画案策 定	

杉並区の小中一貫教育

－自信をもって自らの人生を切り拓いていく
子どもを育てる杉並の教育－



杉並区公式キャラクター「なみすけ」

杉並区教育委員会事務局
統括指導主事 白石高士